

市政を問う

一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

※QRコードについて

お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像をご覧ください。

市議会ホームページの「小平市議会 議会中継」のページに遷移します。

（QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。）



積極的な健康施策の取組を／
外国人との交流で地域の発展を
橋本孝二議員
（市議会公明党）



将来の福祉充実のために、
より積極的に健康施策に取り組み

外国人との交流を促進し、
地域をより発展させよう

質問 ①健康チェックカーズプロ
ジェクトKについて、市民意見
をどのように施策に反映したか。

②こだいら健康ポイント事業
に、がん検診を新たな受診ポイ
ントとして追加すべきでは。

市長 ①若い世代からはSNS
での発信のほか、紙媒体での案
内がほしいとの意見もあった。

これまでもSNS等での情報配
信やリーフレット送付等してき
たが、今後も市民の意見を聞き、
施策の充実に取り組んでいく。
②受診率向上等に資すると考
えられるため今後検討していく。

質問 ①外国人住民への日本語
教育を推進すべきだが見解は。

②市内事業者と外国人住民と
の就労関係が良好となるよう、
環境整備等をすべきだが見解は。

市長 ①現在、国際交流協会
で外国人への日本語話教室を行
っている。引き続き同協会と連
携し、支援の在り方を検討する。

②国が外国人雇用サービスセ
ンターを運営しており、事業者
からの相談に対応している。市
では現在、外国人に限定した取
組は行っていないが、今後、他
市の動向を注視し研究していく。



小川駅周辺の課題について／
こだいらの魅力を引き出すために
高橋政美議員
（市議会公明党）



小川駅周辺の課題について

質問 ①小川駅の駅舎は、エス
カレーター設置やトイレ改修の
声が多いが、協議の現状は。

②再開発ビルの一角に、にぎ
わい広場が計画されている。に
ぎわい創出のためには計画的な
運用が必要と考えるが、見解は。

市長 ①西武鉄道株式会社との
協議では、エスカレーターの新
規設置と既存トイレ改修の要望
を行っている。引き続き、実現
に向けた協議を継続していく。

②新公共施設は、広場も合わ
せて指定管理者による一体的な
管理運営を検討している。広場

の計画的な活用も、指定管理者
の提案を基に協議し進めていく。

こだいらの魅力を引き出すために

質問 ①住民以外の人に小平の
魅力をSNSで発信してもらう
事業について、見解は。

②学生等の力を借りて、小平
と言えば、というものを創るべ
きと考えるが、見解は。

市長 ①こだいら観光まちづく
り大使等が一部実施している。
今後、情報収集し研究していく。

②学生の企画等を受け入れ、
実施する体制づくりを進めてお
り、学生の力を生かした小平市
のPR方法を検討していく。



大規模災害の備えで安全安心を／
身寄りのない高齢者の安心を
佐藤 徹議員
（市議会公明党）



大規模災害への備えで、より安全で
安心な街、小平を目指して

質問 ①震災対策用井戸として
登録されてない井戸が、市内に
100基以上あるとされる。NPO
法人との連携強化等、踏み込ん
だ対応を実施すべきだが見解は。

②4月に玉川上水緑道の樹木
の枝が落下し、道路を塞ぐ事案
が発生した。総点検や剪定等の
対策を講ずるべきだが見解は。

市長 ①市報等で周知啓発に努
めており、登録件数は年々、増
加している。井戸に関するNP
O法人とは意見交換している。

②樹木の適正管理が課題と認
識しており、安全を優先して剪

定などを進めてきた。都は、史
跡玉川上水整備活用計画の改定
に向けた取組を行っており、今
後も都と連携等し管理に努める。

身寄りのない高齢者が安心して
住み続けられる小平を目指して

質問 愛知県豊田市の、ひとり
暮らし高齢者等登録制度を導入
すべきと考えるが市の見解は。

市長 地域包括支援センターの
生活支援コーディネーターが、
社会福祉協議会、介護事業所、
ケアマネジャー等と協力して高
齢者を支える地域づくりに取り
組んでいる。現在、制度を導入
する予定はないが、関係機関と
情報共有していく。



高齢者が暮らしやすい小平を／
支援が必要なくともたちのため
幸田昌之議員
（市議会公明党）



高齢者の皆さんが元気で
暮らしやすい小平を

質問 ①eスポーツを活用した
フレイル予防事業を実施すべ
きと考えるが見解は。

②介護事業の周知及び相談支
援が重要だと考えるが見解は。

市長 ①eスポーツを通じて他者
と交流することで社会参加の促
進が図られるなどの効果が期待
できる。効果や課題を整理する。

②地域包括支援センターが高
齢者の相談窓口であることなど
を知ってもらえるようリーフレ
ットを全戸配布している。地域
包括支援センターが高齢者の生
活や家族介護者を支援している。

特別な支援が必要なの
こどもたちのために

質問 ①保育園における障害児
加算に係る課題は。

②特別な支援が必要なこども
のために活動している親の会や
団体との連携が重要だが見解は。

市長 ①加算の要件は身体障害
者手帳や愛の手帳、医師の診断
書等が交付されていることであ
る。支援が必要な児童には要件
を満たさない児童もおり、対象
とならないことが課題である。

②特別な支援が必要なくとも
たちや家族に寄り添った支援に
は、親の会などとのつながりは
重要であり、引き続き連携する。



いじめ情報の引き継ぎや調査報告書の
在り方等を、一から見直せ
安洋平議員
（一人会派の会）



進学先へいじめ情報引き継がれず
再発、教育長答弁と真逆だが

質問 小学校でのいじめに関し、
令和5年12月に青木教育長は、
同種事案が繰り返されることな
く、被害及び関係児童が円滑な
学校生活を送れるよう中学校へ
引き継いでいる旨答弁した。し
かし引継ぎの事実はない。いじ
めは再発した。具体的に何を引
き継いだとしたか。答弁と逆の
事態に責任を感じているか。

教育長 関係児童の氏名、当該
事案の概要など、個別の事案に
応じて必要な引継ぎを行って
いるため、答弁と逆の事態にな
っているとは捉えていない。

質問 迅速に調査を進め、第三
者が担保された報告書にまと
めるためには、資料作成など実
際に手を動かしてもらった委員
の枠をつくり、時間報酬的な新
な報酬体系を整備する必要があ
ると考えるが見解は。

教育長 報告書をまとめる際の
第三者性に問題がないと認識し
ているため、現時点での設定は
考えていないが、他自治体の事
例の情報収集に努めていく。

【掲載分以外の質問項目】
○疑問だらけのいじめ重大事態
調査報告書が公表されたが、外



教育長は政治的中立であるべき／
中学生にふさわしい教科書を
伊藤 央議員
（一人会派の会）



教育長及び教育委員会の
政治的中立性について

質問 ①1月に、笑顔咲く小平
の広報紙に市長と教育長の対談
記事が掲載された。教育長は、
掲載先が市長の関連する政治団
体の広報紙との認識があったか。

②地方教育行政法で禁止され
る教育長の積極的な政治運動に
当たると考えるが市長の見解は。

③過去に小平市で政治団体の
広報紙等に教育長のコメントや
写真が掲載された事例があるか。

教育長 ①認識していなかった。
市長 ②当たるものではない。
教育長 ③把握しているものは
ない。

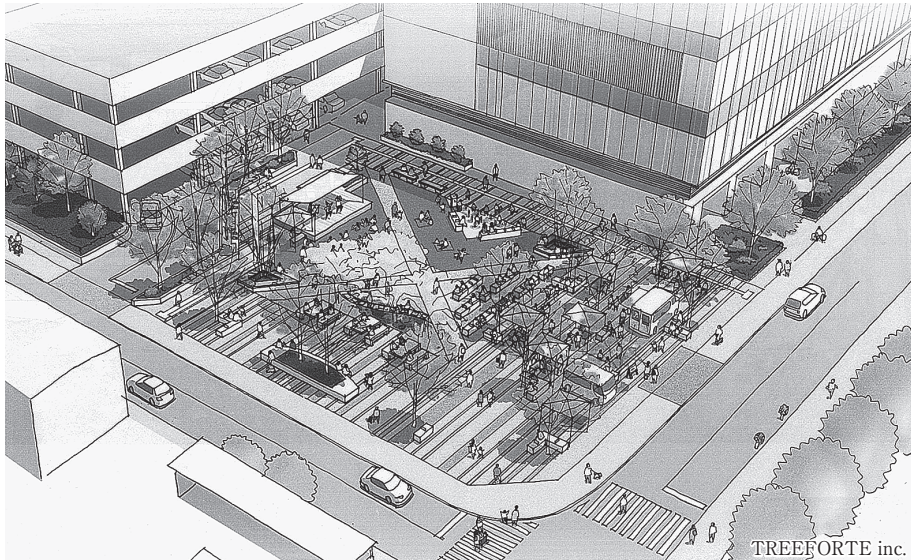
小平市の中学生にふさわしい
教科書を適正な環境で

質問 ①教科書採択に当たり市
長から採択方針が示されたか。

②採択結果については、市長
も説明責任を負うか。

③2回の会議で全ての見本
の精査が可能なのか。

④小平市ゆかりの津田梅子に
ついて掲載されている教科書を
選ぶ方針はあるか。
教育長 ①示されなかった。
②説明責任は教育委員会にあ
ると認識している。
③可能であると捉えている。
④その方針はないが、採択に
おける一つの要素にはなり得る。



（仮称）小川にぎわい広場のイメージ（再開発区域北西側からの視点）